

新年 謹賀

新年あけましておめでとうございます。
当センターは元旦より開館しております。
本年もよろしくお願い申し上げます。

Vol.115
令和元年度1月号

— 「第9回全国タナゴサミットin栗原」開催！

希少魚ゼニタナゴも確認！

第9回全国タナゴサミットin 栗原」開催！希少魚ゼニタナゴも確認！

「タナゴサミット」が11月30日～12月1日に開催されました。岐阜県や三重県などでタナゴの保全に関わる研究者や団体から、貴重な発表がありました。翌日は、沼に設置した定置網を見学。定置網から1個体のゼニタナゴが見つかりました。ゼニタナゴは絶滅危惧ⅠA類に指定されている希少淡水魚。もう生息地はわずかしかなかった。専門家でも初めて見たという方が多く、ブラックバス駆除によって本種が回復してきたことを多くの方に褒めて頂きました。



エポカ21で開催されたサミット



現地研修会の様子



確認されたゼニタナゴ

— 池干しでオオクチバスを駆除

池干しは、水を抜いて外来魚の駆除やゴミの掃除など池の管理のために行われます。当財団では生態系保全のため、毎年伊豆沼近隣の池で池干しを行っています。

11月下旬に行われた池干しでは、オオクチバスが約300匹見つかりました。他の魚はほとんど見つからず、オオクチバスが生態系に与える影響の甚大さをひしひしと感じました。

この活動は、環境保全などに取り組む組織「ナマズのがっこう」と地元の水利組合と協力し、宮城県の支援を受けて実施しています。



池干しで見つかったオオクチバス

マガンの飛び立ちを観察

第9回伊豆沼・内沼自然体験講座「ガンの飛び立ち観察会&沼歩き探鳥会」が12月7日に行われ、県内外から15名が参加しました。講座は朝6時からスタート。夜明けの伊豆沼では、一斉に飛び立つマガンの群れに歓声が上がりました。次に向かったのは内沼。内沼ではハクチョウやオナガガモが近くまで寄ってきて愛くるしい姿を見せてくれました。伊豆沼の岸边を歩きながら行った探鳥会では、マガモやミコアイサ、カンムリカイツブリなど様々な水鳥に出会うことができ、参加者の皆さんもご満足いただけたようでした。



一斉に飛び立つマガンの群れ

ミコアイサにも出会えました



オナガガモたちを近くで観察

台湾で「第7回WLI-Asia会議」



12月2日から6日にかけて第7回WLI-Asia会議が台北市で開催されました。これはアジア各国の湿地センターがネットワークを作っていて、2年に1回開催されるものです。日本からは宮島沼水鳥・湿地センター、谷津干潟自然観察センター、ウトナイ湖サンクチュアリ・ネイチャーセンター、当センターが参加し、活動紹介をしました。普及啓発や湿地管理をすすめるため、活発な議論がなされました。最終日にはWLI-Asiaのこれからのテーマとする議論もあり、巡回展示の作成などが進められることになりました。



「第25回伊豆沼・内沼絵画展」を開催しています

12月24日よりサンクチュアリセンター1階ホールにて「第25回伊豆沼・内沼絵画展」を開催しています。伊豆沼・内沼の良さを知っていただき、自然保護の意識啓発を図ることを目的として始まった絵画展も今年で25回目を迎えました。今回、25回を記念して記念画集を作成しております。

絵画展では、伊豆沼・内沼を巧みに表現した作品が出展されています。美しい作品の数々をどうぞお楽しみください。

【期間】 令和元年12月24日（火）～令和2年1月25日（土）
午前9時～午後4時30分（最終日は12時まで）

【会場】 伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター1階ホール



「伊豆沼」
熱海正武(栗原市一迫)

